

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回美幌町義務教育学校開校検討委員会
開 催 日 時	令和7年6月25日(水) 18時00分 開会 19時33分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ1階 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	【委員】16名 中川委員長、中山委員、小林委員、西田委員、豊澤委員、澤田委員、 寺崎委員、牛島委員、采女委員、森委員、加藤委員、川添委員、 吉田委員、大原委員、佐々木委員、熊崎委員 【オブザーバー】 小室教育長
欠 席 者 氏 名	長岡委員、伊藤委員、山本委員、辻委員、佐藤委員、花田委員
事務局職員職氏名	中尾教育部長、高田学校教育課長、弓山学校給食課長、 浅野社会教育課長兼スポーツ振興課長、菅図書館長、薮下指導主事、 辻総務G主査、佐藤総務G主査、堀口学校教育G主査、廣田建築主幹、 森谷学校教育G主事
議 題	1 開会 2 議事 (1) 道内先進地事例の紹介 (2) 基本構想に必要な項目について 3 意見交換 (1) グループワーク (2) 全体発表 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名
資 料 の 名 称	○議案 ○資料番号1 令和7年度義務教育学校の設置及び小中一貫型小学校・ 中学校の導入状況(令和7年5月現在) ○資料番号2 砂川市義務教育学校基本構想 ○グループワーク記録用紙
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局	<p>1 開会 （進行：中尾教育部長）</p>
中川委員長	<p>2 議事 （以降、進行は中川委員長） （1）道内先進地事例の紹介 （2）基本構想に必要な項目について</p>
事務局	<p>資料番号1～2に基づき事務局より一括で説明。 （質疑等なし）</p>
各委員・事務局	<p>3 意見交換 （1）グループワーク 約40分 グループA～Dに分かれ「新しい学校づくりに期待すること・課題となること」をテーマに意見交換 （2）全体発表 約20分 各グループの意見交換内容を発表（別添のとおり） 全体の意見を整理した結果を次回の会議で示し、再度意見交換する旨を伝達。</p>
采女委員	<p>4 その他 グループワークでいじめや不登校への対応の話が出ていたが、いじめについて現状学校で発生した場合には他校に転校することはできるのか。 義務教育学校にすることのメリット・デメリットがあると思うが、特にデメリットについて改めて示した上で、どう解決するかを考えていかなければならないと感じる。</p>
事務局	<p>区域外の学校に通学することは可能。例えば両親が共働きであり祖父母の家に帰宅したいなど、特別な事情がある場合に認めている。 昨年12月の町民説明会で、オホーツク教育局の佐藤義務教育指導監を講師に招き、義務教育学校のメリット・デメリットを講演していただいている。次回の会議でその資料により振り返りができればと思う。</p>
佐々木委員	<p>義務教育学校になることで、縦割り活動で上級生と下級生の異年齢同士が関わる環境が構築されることにより、いじめ発生の緩和につながるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>次回の開催日程について報告。 令和7年7月22日（火）18時～ しゃきっとプラザ1階集団健診ホール</p>
	<p>5 閉会 19時33分 閉会</p>